

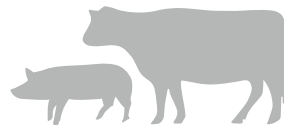
承認指令書番号	14生畜第1438号
販売開始	2003年2月

貯法 25℃以下の室温保存

## 動物用医薬品

牛・豚用イベルメクチン注射剤

使用基準 指定医薬品

エコメクチン<sup>®</sup>注射液1%

©登録商標

本剤は、ECO Animal Health社が開発したイベルメクチン1%含有の注射剤で、牛及び豚用の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除剤です。

## 【成分及び分量】

品名	エコメクチン注射液1%
有効成分	イベルメクチン
含量	1mL中10mg

## 【効能又は効果】

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。)及び豚の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除。

牛 内部寄生虫:オステルターグ胃虫、牛捻転胃虫、牛腸結節虫、クーペリア、毛様線虫及び牛肺虫

外部寄生虫:疥癬ダニ(食皮ヒゼンダニ)

豚 内部寄生虫:豚回虫、豚腸結節虫、豚糞線虫、豚鞭虫及び豚肺虫

外部寄生虫:疥癬ダニ(穿孔ヒゼンダニ)、豚ジラミ

## 【用法及び用量】

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。):

1回体重1kg当たり本剤0.02mL(イベルメクチンとして200µg)を皮下注射する。

豚:1回体重1kg当たり本剤0.03mL(イベルメクチンとして300µg)を皮下注射する。

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は牛及び豚用のみに開発された製剤である。本剤は、犬において致死を含む重篤な副作用を引き起こす恐れがあるので、牛及び豚以外の動物には使用しないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意:本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物[牛(搾乳牛を除く)、豚]について、上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛(搾乳牛を除く。):

食用に供するためにと殺する前40日間

豚:食用に供するためにと殺する前35日間

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛及び豚に関する注意)

- ・本剤は搾乳牛(食用に供するために出荷する乳を泌乳している牛をいう。)及び分娩予定日前28日間の乳用牛には使用しないこと。
- ・本剤は筋肉内、静脈内及び腹腔内注射並びに経口投与には使用しないこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・食品と区別して保管すること。
- ・開封後は、遮光して保管し、早く使い切ること。
- ・有効期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。

- ・本剤の保管は直射日光を避けること。
- ・本剤は温度の影響を受けやすいので、必ず25℃以下の室温で保管すること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く。)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- ・本剤は魚及びある種の水棲生物に影響を与えることがあるので、容器及び残りの薬剤は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤の保管は、火気厳禁(第4類・第3石油類・水溶性・危険等級Ⅲ)とすること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(牛及び豚に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤は牛では肩の前後の皮下に、また豚では頸部皮下に注射すること。
- ・体重が16kg以下(投与量が0.5mL以下)の子豚には、特に正確な量を投与するため0.1mL目盛りをついた注射器を用いること。
- ・注射部位を消毒剤で消毒すること。
- ・他の注射剤と同時に投与する時は、注射部位を交えること。
- ・本剤はシラミの卵を殺さない。シラミの卵の孵化には最大3週間を要するので、投与後に孵化した豚ジラミが認められる場合は本剤の再投与を行うこと。
- ・牛疥癬ダニの治療に本剤を用いる場合、カユミ等の臨床症状は投与後2～3週間以内に消失するが、ダニは検出されることがある。

(専門的事項)

### 1. 副作用

- ・本剤は皮下注射後、時折一過性の疼痛又は注射部位の腫脹がみられることがあるが、自然に治癒する。

【使用期限】

個装箱及びラベルに記載

【包装】

50mLポリエチレンバイアル  
200mLポリエチレンバイアル  
500mLポリエチレンバイアル

【製品情報のお問い合わせ先】

株式会社エコアニマルヘルスジャパン  
東京都港区浜松町一丁目2番1号  
TEL:03-5776-2530

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

【製造販売元(輸入発売元)】

**Eco** 株式会社エコアニマルヘルスジャパン

東京都港区浜松町一丁目2番1号